

お見舞金をおくってくれた全国の学生にメッセージ

4月3日 実家全壊

お見舞金ありがとうございました。地元の復興に向けこれから前向きに、一生懸命頑張っていきます。

4月11日 家屋全壊 女

震災により自宅が全壊・流出し、両親の収入も大幅に減額となったところに、私の私立大学への入学が決まりました。このような経済的な負担が大きかったところへ、こうした措置を取っていただきありがとうございます。みなさんからのあたたかい気持ちを無駄にしないよう、これからの4年間を自分の夢の実現に向けて精一杯過していきたいと思っています。全国の生協組合員のみなさん、本当にありがとうございました。

4月19日 家屋全壊 女

私は東日本大震災の津波により、家を失いました。みなさんの気持ちがとてもありがたいです。これからもがんばります。本当にありがとうございました。

4月20日 家屋全壊 男 山形大学 1年

全国からの御支援どうもありがとうございます！地元は、復興はまだまだ年月がかかりますが、一生懸命みなが一つになってがんばっています。

4月20日 家屋全壊 女

皆様からの援助、本当にありがとうございます。今後、何かの形で恩返し出来たら良いと思っています。

4月20日 家屋全壊 女

震災により慣れ親しんだ家を失いましたが、全国のいろいろな方々のおかげで自分の夢へ向けて勉学に励むことができます。心から「ありがとう」の気持ちを伝えたいです。これから先も一生懸命生きて未来を作っていきます。

4月24日 家屋全壊 女 山形大学 1年

私は東日本大震災で小中学時代の多くの友人を失いました。仙台市若林区荒浜地区にあった家も津波で流され、震災後の3週間は家族で近くの七郷中で避難所生活などをしました。今は民間の借り上げ住宅に住んでいます。私は避難所でボランティアとしてさまざまな経験をしました。そこでは「大震災で私たちは何をすべきか」という本などをたくさん読み、また高校の勉強も必死になってやりました。私は、避難所でボランティアとしてさまざまな体験をして、本当の優しさはとても奥が深く、実は厳しいことを知りました。私は全ての困難から逃げることはしないで、いつも前向きに取り組みました。こんな大変な体験をしましたが、被災者でもある私は、周りの方々の心の痛

みや悲しみの分かる地方公務員になりたいという思いが強くなりました。先日、山形大学の推薦合格が決まりました。この春は大学生です。公務員になる夢に向かって感謝を忘れず、大学生活を歩んでいきます。 <河北新報 1月23日掲載文>

4月24日 家屋全壊 男

東日本大震災の津波で高校の同級生2人が亡くなりました。一人は理数クラスのクラスメイトで、もう一人は弓道部の仲間でした。修学旅行で共に笑い、部活動で共に汗をした私の大切な友人達です。今春、大学生となった私は、友人の分も、これからの大学生活、人生を一生懸命歩んでゆきたいと思います。

4月24日 家屋全壊 男

感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

4月25日 家屋全壊 男

お見舞金をおくってくれた全国の学生の方々には本当に感謝しています。新しい家を建てなければならず、お金がない状況なのに自分を大学に入れてくれて本当に親にも感謝しています。このような状況でお見舞金をもらえることは自分にとっても、親にとっても助かります。本当にありがとうございました。このお金でノートなどの文房具を買ってこれからも勉学に励みたいと思います。

4月25日 家屋全壊 男 山形大学 1年

入学時の出費がかさむ時に本当に助かりました。大事に使います！皆さんの御厚意、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

4月25日 家屋全壊 男 山形大学 1年

今回のお見舞金、本当にありがとうございます。大学生活のために大切にさせていただきます。

4月25日 家屋全壊 男

ありがとうございました。

5月1日 家屋全壊 女

3月11日の東日本大震災の津波により、私の自宅は、流失・全壊してしまいました。何もかも失ったことは、とても悲しく絶望的な気持ちになりました。しかし、私の家族や親せきは、みな無事だったことだけで、本当によかったと思いました。震災後、他県のみなさんからの支援は、とても、ありがたく、心にしみました。震災から1年がたっても、こうして、全国の学生のみなさんから、お見舞金をいただけること、とてもうれしくおもいます。ありがとうございました。

5月1日 家屋全壊 女

お見舞金をいただけてすごく助かります。

5月1日 家屋全壊 女

ありがとうございます。大切にに使わせてもらいます。

5月1日 家屋全壊 女

東日本大震災に起きた津波により自宅が全壊してしまいました。いただいたお見舞金は教員になるという夢を叶えるために、使わせていただきます。そして、将来は地元岩手県に貢献できる教員になり、子どもたちに津波の恐ろしさ、東日本大震災のような災害が起こったとき、どのような行動をとるべきなのか等を伝え、東日本大震災が起こったことを風化させないようにします。お見舞金を送ってくれた全国の学生みなさんに感謝します。ありがとうございました。

5月1日 家屋全壊 女

全国の学生の皆さん、この度はお見舞金、本当にありがとうございます。家族を亡くした悲しみや自宅を失った悔しさは、未だに消えるものではありませんが、皆さんのおかげで学生生活を送ることができていることに、とても感謝しています。いつの日か、皆さまに恩返しできる日が来ることを願いつつ、学生生活を送りたいと思います。本当にありがとうございました。

5月2日 家屋全壊 女 東京学芸大学 1年

温かいご支援本当にありがとうございます。自分の成長のために大切にに使わせていただきます。

5月9日 家屋全壊 男 東北工業大学 1年

この度は、全国の学生様のご厚意は、忘れません。ありがとうございます。これから何かありましたら微力ですが、力になっていきたいです。本当にありがとうございました。

5月9日 家屋全壊 女 首都大学東京 1年

この度は、お見舞金を賜りました。ありがとうございました。地震で被災し大学合格後も経済的にも精神的にも無事に大学生活を送っていけるだろうかという不安がありましたが、全国の皆様からこのようなお見舞い金とあたたかいお気持ちを受け取り、前向きに頑張らなければという気持ちになりました。本当にありがとうございました。

5月9日 家屋全壊 男

お見舞い金は自らの生活のために使いました。本当に助かりました。

5月9日 家屋全壊 女

お見舞金をいただけることになり、とても感謝しております。実家は現在修繕工事中ということもあり、何かとお金がかかってしまっています。そのため、お見舞金は本当にありがたいです。皆様の支援におこたえするためにも、より一層勉学に励もうと思います。

5月11日 家屋全壊 男

自分は今回の震災で家が全壊しましたが、周りの人々に支えられて早稲田大学に合格することができました。今回もお見舞金という形で支えてくれて、本当に感謝しています。

5月11日 家屋全壊 女 東北大学 院1年

勉強をつづけ、夢を追うにあたってとても励みになります！みなさんのお気持ちに感謝して頑張りたいです。私もいつかどこかでお返しをできればと思います。

5月11日 家屋全壊 男 東北大学 1年

昨年発生した東日本大震災により私は家を失い、多くの人と共に避難所で生活を送りました。避難所での生活は、私にとって、人間の優しさや強さに触れるとともに社会秩序の大切さを心に刻み、将来の自画像を描く上で掛け替えのない経験となりました。私は大学で法を学ぶことを通じて、変動期に入っている社会を大局的に見つめる視座と、社会の諸課題を解決するための倫理観・判断力を身に付けたいです。そして、習得した能力をもって、社会再創生に直接携わることが、東北の地で生まれ育ち、被災市街地復興推進地域に指定された街がふるさとである、私の強い希望です。そして何より、こうして新たなスタートを迎えることができたのは、偏に皆様の温かい支援のおかげです。本当にありがとうございました。

5月11日 家屋全壊 男

今回の震災によって失ったものは多くありましたが、自分達は多くの人に支えられて生きているんだということに気づかされました。そういった支えてくれている人たちに感謝してこれから大学生活を頑張っていきたいと思います。

5月11日 家屋全壊 男

この様な温かい支援に、大変感謝しています。これから復興に向けて精一杯がんばります。今後ともご支援よろしくお願ひします。

5月11日 家屋全壊 男

全国のみなさまのご支援のおかげで見舞金を頂けることができ大変幸せに思います。本当にありがとうございます。

5月11日 家屋全壊 男

全国のみなさんに支援してもらえたこと、大変幸せに思います。どうもありがとうございます。

5月15日 原子力災害 女

この度は寄付していただきありがとうございます。今回の震災で受験を止めて、就職活動に変更しようかと考えたこともありましたが自分の夢を捨てることができず本学への入学をきめました。昨年1年で悲しいことは沢山ありましたが今年からは目標に向かって希望を捨てずに研究に励んでいきたいと思います。将来何らかの形で皆様に恩返しできたらと考えております。

5月15日 家屋全壊 男

被災し、全国から多くの支援をいただき感謝の気持ちでいっぱいの中、大学生協に加入されている皆様からも支援を頂けて本当に嬉しく思います。これに奮起し勉学に一生懸命取り組みたいと思います。

5月15日 家屋全壊 女 宮城大学 1年

全国の学生の皆さん、今回はこのような支援ありがとうございます。これからも自分の夢に向かって勉強を頑張っていきたいと思います。お互い違う場所ですが、将来のために一歩ずつ進んでいきましょう。

5月15日 家屋全壊 女

ありがとうございました。

5月15日 家屋全壊 女

ありがとうございます。全国のみなさんのおかげで娘も進学することができました。頂いたお金は学用品に使わせてもらいます。母

5月16日 家屋全壊 男

このたびは東日本大震災に際し、たくさんのお見舞金をありがとうございました。みなさまのあたたかいお気持ちにたいへん感謝しております。

5月16日 家屋全壊 女

ありがとうございました。皆様に感謝し、4年間自分の目指す道へと進んで行きたいと思います。

5月16日 家屋全壊 女 宮城学院女子大学 1年

お見舞金頂きました。有難うございました。今後も頑張っ勉強に励んでいきたいと思ひます。

5月16日 父死亡 女

お気持ち、とてもうれしいです。ありがとうございます。

5月17日 家屋全壊 女

全国の皆さんの心遣いに感謝致します。

5月21日 家屋全壊 女

とても助かります。ありがとうございます。

5月21日 家屋全壊 男 東北学院大学 1年

お見舞金ありがとうございます。復興にはまだまだ時間がかかりますが、少しでも地元や社会の力と成れるよう励みたいと思ひます。

5月21日 家屋全壊 男 東北工業大学 1年

東日本大震災があり、家が全壊し、進学等考えられない状況でしたが、家族の後押しもあり、無事大学に入学でき学業に頑張ろうと決意しました。生協共済に加入し、お見舞金を頂き心より感謝しています。無駄に使うことなく大事に使わせて頂きます。全国の皆さん、ありがとうございました。明日に向かって進んでいきます。

5月22日 家屋全壊 女

私が住んでいた家は、東日本大震災により、全壊しました。現在は民間の借上げ住宅で元気に過ごしています。私は大学で管理栄養士と養護教諭の免許取得に向けて日々勉学に励んでいます。なぜこれらを目指しているのかというと震災後に食のありがたみを強く感じたからです。私は4日間避難所で生活をしました。配給はもらっていたのですが、1日に2食しかもらえなかったり、1食につきバナナ1本、せんべい1枚だけという日もありました。栄養バランスが崩れるのはもちろんですが、空腹に耐えるということが何より辛かったことを覚えています。そこで私は毎日お腹いっぱい食べていた食事はとてもありがたいもので、大切なことだったということに気づきました。将来は管理栄養士として病院に勤めて、患者の方々に少しでも早く良くなってもらえるような食事を提供していきたいです。それと共に震災で学んだ、食の大切さも伝えていきたいです。今回いただいたお見舞金で知識をさらに増やすために本や教科書を購入したいと考えています。ご支援ありがとうございました。

5月22日 家屋全壊 男

支援していただきありがとうございます。

5月22日 家屋全壊 男

震災の時、私は両親と自宅にいました。地震の後の津波が襲ってくる音は、とても恐ろしいものでした。急いで2階へ避難しましたが、目の前に広がる光景は信じがたく、嵐の海に放り出されたようでした。外からは助けを求める声も聞こえましたが、どうしようも出来ませんでした。1階天井まで浸水し全壊となりました。2～3ヶ月間ガス、水道、電気のない生活を送りました。そんな中で、日本中、世界中の方々から温かい励ましや支援をいただきました。また、ボランティアの方や自衛隊の方々にも大変助けていただきました。いざとなると、人間の絆のパワーはすごいと思いました。自分は、この経験を生かして、世の中の役に立つ人間になるよう勉強したいと思っています。本当にありがとうございました。

5月22日 家屋全壊 女 東京インカレ 1年

みなさんからのご支援深く感謝しております。私の住んでいた気仙沼も震災前はとてもきれいなところでしたが、津波・火災により震災前の風景とはほど遠い風景になってしまいました。テレビとかで見る状況では、被災地の様子が完全に写されている状況ではありません。復興にはまだまだ時間・年数がかかります。私達が社会人となり、被災地の復興に携さわれる事が出来る様頑張りました。

いと思います。

5月22日 家屋全壊 女

お見舞金ありがとうございます。震災の記憶を残しながらもこれから頑張って生きていこうと思います。

5月23日 家屋全壊 男

この度は心のこもったお見舞をいただき感謝致します。有意義に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

5月23日 家屋全壊 女

全国の学生に感謝します。万が一、逆の立場になったとしても私も支援していきたいと思います。このお金は、勉強用として大事に使わせて頂きます。本当に感謝とありがたさでいっぱいです。

5月25日 家屋全壊 女

今回このような支援を頂きありがとうございます。大学で、将来地元復興に関れるような人材になれるよう勉強にはげみたいと思います。

5月25日 家屋全壊 男

私は昨年3月11日の東日本大震災で自宅を流出し、父と祖父を亡くしました。その中で、たくさんの苦しみ乗り越え、今春、進学することができました。これは、全国各地の方々のご支援のおかげです。本当にありがとうございます。これからの大学生活、自分の目標や夢を叶えられるよう、日々頑張っていきたいと思います。

5月25日 父死亡 男 昭和大学

私は、震災で自宅が流され、父と祖父を亡くしました。大切なものを失い、夢や目標を諦めかけていましたが、全国の方々が私たちのために支援して下さい、無事に大学に入学でき、夢を叶えるために前進することができました。今回のお見舞金も自分自身の夢と目標を叶えるために役立てたいと思います。本当にありがとうございました。

5月25日 家屋全壊 男

今回の東日本大震災では、たくさんの方々に本当にお世話になり、とても感謝しています。このようなお見舞金をおくってくださった方々へは感謝しきれません。もし将来、自分も逆の立場になったら、この気持ちをたくさんの人に伝え、自分の出来ることをしていきたいです。

5月25日 家屋全壊 女

震災にあって、家が全壊になってしまったんですが、このいただいたお金を大事に使っていきたいと思います。ありがとうございます。

5月25日 家屋全壊 女 みやぎインカレ(仙台白百合女子大) 1年

東日本大震災により被害を受け、自分自身も大学進学を迷いました。今回、お見舞金をおくってくださった方に本当に感謝します。私もいつか他の方が大変な状況にあるときには、恩返しできるように、頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。

5月28日 家屋全壊 男 宮城大学 1年

みなさんのおかげで、少しずつ着実に東北は復興してきています。今回のお見舞金は、復興に関わっていくための勉強をするために、活用させていただきます。ありがとうございました。

5月28日 家屋全壊 女

この度はお見舞金を頂きましてありがとうございました。皆様からのお心づかい本当に感謝申し上げます。復興に向け一歩、一歩前向きに頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

5月28日 家屋全壊 女 みやぎインカレ(仙台白百合女子大) 1年

震災当時、津波で高校が孤立してしまい、3日程飲まず食わずで過ごしました。初めて食糧の支援があったとき言葉にできないほどうれしかったのを覚えています。日本だけにとどまらず世界の多くの人々の支えがあったからこそ今の自分があるのだと実感しています。学生のみなさん、本当にありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女

被災地のためにお見舞金をおくって下さり、ありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女 みやぎインカレ(仙台白百合女子大) 1年

この度はお見舞金を送っていただきありがとうございます。私の家はこの震災で全壊してしまいました。そして経済的にも修学が困難な状況でした。私は、一時期 大学進学を諦めようかと考えていましたが、多くの方々の温かい支援をいただき、諦めず進学することができました。心より感謝申し上げます。また、このお見舞金は、大学まで通う交通費などに使いたいと思います。私はこれから大学でたくさんのことを学び、復興に向けて皆さんと協力し、頑張っていきたいと思います。

5月28日 家屋全壊 女

ありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女

ありがとうございました。ありがたく使わせていただきます。

5月28日 家屋全壊 男 みやぎインカレ(東北生活文化大学) 1年

お見舞金ありがとうございます。教科書代に充てたいと思います。皆様からの支援を無駄にしない



いよう、勉学に励み、今度は自分が皆様にお返しできるような人間になりたいと思っています。本当にありがとうございました。

5月28日 家屋全壊 男

全国の皆さん、お見舞金をおくっていただき本当にありがとうございます。いつまでも感謝の気持ちを忘れずに無事に大学を卒業し、少しでも多くの復興に向けて頑張っていきたいと思えます！！本当にありがとうございました。

5月28日 家屋全壊 女

震災を通して人のつながりを実感しました。皆様のサポートに感謝致します。今は勉学に励み、いずれ社会に貢献できるよう、努力していきたいと思えます。この度は本当にありがとうございました。

5月28日 家屋全壊 女

少しずつでも、支援をしていただけてとてもありがたいです。被災地の方たちは、復興活動を頑張っています。これからもあたたかい支援をお願いします。

5月28日 家屋全壊 男

ありがとうございます。大事にします！

5月28日 家屋全壊 女

たくさんのご支援ありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女

今回はこのようにお見舞金をいただき、ありがとうございました。これから、勉強などががんばっていきます。

5月28日 家屋全壊 男

みなさんの支援に感謝し、学生生活を送るうえで大事に使わせていただきます。

5月28日 家屋全壊 男 東北学院大学 1年

この度のご支援ありがとうございます。私の家は、内陸に位置しているため、人的被害こそ無かったものの、多くの物を失いました。電気もつかず、ろうそくの火を灯しながらご飯を食べていました。その時に聞いていたラジオから全国の人達からの励ましのメッセージが流れていました。私はそのメッセージに「自分は一人じゃないんだ」と思われ、勇気づけられ、避難所でもへこたれずに生活することが出来ました。この場を借りて御礼申し上げたいとおもいます。また、この度のお見舞金も全国150万人の学生の皆さんが出資していると伺いました。改めて、私を含めた被災者が全国から応援されているということが大いに分かりました。この応援に応えるべく、未だ道の

りは長い復興への歩みを進めていきたいと思ひます。また、このご支援に感謝し、将来の復興の礎となるような学業に精進していくことをお誓ひします。そして、この出資が無駄でなかつたと150万人全員から思ひていただけるよう頑張ります。

5月28日 家屋全壊 男

たくさんの方の支援ありがとうございます。自宅が全壊流出して何もなくなり、一度はあきらめました。が頑張って勉強したいと思ひます。ありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女 東北学院 1年

組合員の皆様、ありがとうございます。震災か1年経ってもこの様に皆様の力によって支えられているのだと強く実感しました。ありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女

本当にありがたい限りです。感謝してもしきれません。今回の震災で多くの方が悲しみ、苦難を抱えています。そんな中でみなさんがお見舞金という形で私たちのことを支えてくださり、同時にその優しい思いが感じられ、自分達も頑張らなければと前向きな気持ちになれました。このありがたみと感謝の心を忘れずに生活していきたいと思ひます。本当にありがとうございます。

5月28日 家屋全壊 女 東北学院大学 1年

見ず知らずの私たちのためにたくさんの方が支援してくれて本当にありがたいです。その気持ちに応えるためにも一生懸命がんばります。ありがとうございます。

5月29日 家屋全壊 女

震災によって家が壊れてしまった時は本当に辛かったけど、このような皆様の助けをお借りして生活することが出来ています。本当に有り難うございます。

5月29日 家屋全壊 女

全国からの多くの支援に日々感謝しています。本当にありがとうございます。皆様から受け取ったお金は大切にに使わせていただきます。

5月29日 家屋全壊 男 東北学院大学 1年

私達は、2011.3.11の東北大震災によって、家やふるさと、思い出、様々な大切なものを失いました。しかし、全国、世界からの多くの支援と思いやりの気持ちをたくさんいただき、未来は私達の中にあると確信しています。新生活では、新たな自分の発見を求め失敗を恐れず積極的に色々な事にチャレンジして行こうと思ひます。

5月29日 家屋全壊 女

今回はこのような皆様の温かい手をさしのべてくれることに、とても感謝しきれません。同じ大学生であるたくさんの方々にご協力をいただいて、そして被災地、被災者を気にかけてくれることは、何

よりも嬉しく感じ、安心することができました。このお見舞金は、今後の生活の中で大切に使用したいと思います。本当にありがとうございました。

5月29日 家屋全壊 男 東北学院大学 1年

お見舞金ありがとうございます。大学生活をより良いものにするために役立てていきます。

5月29日 家屋全壊 女

このような形で、支援していただいて、とてもありがたいです。震災後、失ったものは多いのですが、その分、これから取り戻していけたら、と思います。地元を含み、震災で被災された方々、地方の人たちが、少しでも早く元に戻れることを、わたしもいひのります。まだまだ完全でないですが、少しずつ前にむかっています。支援して下さったみなさまにいつか恩返しができるよう、今、頑張ります。ありがとうございました。

5月29日 家屋全壊 男

あの震災から1年が過ぎましたが、このような形で被災者にまだ支援の手がとどくことが大変うれしくてたまりません。お見舞い金で大学生活で不足していたものを買う足しにすることができました。ありがとうございました。

5月29日 家屋全壊 女

全国の学生のみなさまの支援、本当にありがとうございます。このお見舞金を大切に使用させていただきます。これから勉強や大学生活をがんばりたいと思います。いつか、恩返しをしたいです。被災地へのたくさんの支援、ありがとうございました。

5月29日 家屋全壊 男

様々な支援、ありがとうございます。

5月29日 家屋全壊 男

ありがとう！この絆を忘れずに大学生活頑張るよ！

5月29日 家屋全壊 男

自宅は10Fのマンションなので地震で建物の損害は大きく又仙台港の近くなので津波も押し寄せました。お見舞金、大切に使用させていただきます。

5月29日 家屋全壊 男

お見舞金をおくってくださった全国の学生のみなさん本当にありがとうございます。

5月29日 家屋全壊 男 山形大学 1年

お見舞金、本当にありがとうございます。皆様の気持ちをきちんと受けとめ学生生活を有意義なも

のにし、自分たちも社会に貢献できるような人になりたいです。

5月29日 家屋全壊 男

お見舞金をありがとうございました。大切に使いたいと思います。

5月29日 家屋全壊 女

お見舞金をおくっていただき、本当にありがとうございました。しっかりと学業に専念し頑張っていきたいと思います。

5月29日 父死亡と家屋全壊 男 東北工業大学 1年

今回は、私達のような被災地の学生にこのような支援をおくっていただきありがとうございます。せつかくのお見舞金が無駄にならないよう、一生懸命勉強に励みますので、これからも応援をよろしくおねがいします。

5月30日 原子力災害 男

ありがとうございました。

5月30日 原子力災害 女 みやぎインカレ(聖和学園短大) 1年

この度は、お見舞金をくださりありがとうございます。未曾有の大震災から1年以上がたちましたが、無事進学することができ、今は資格取得に向け忙しくも充実した学校生活を送っています。この支援を糧に自分の目標である幼稚園教諭になり、温かな気持ちを持ち希望にあふれた子ども達を育てていけるような保育者になれるよう勉学に励みます！

5月30日 原子力災害 男

震災から1年、家・田・畑がすべて流されてしまいました。でも、家族は全員無事でした。避難所でも心あたたかい、支援物資にも感動いたしました。国や町にたよりきっていた時もありましたが、今では、自立に向けて頑張っています。そしてまた、お見舞金をいただきありがとうございます。本当にありがたいと感謝いたします。ありがとうございます。

5月31日 家屋全壊 女 酪農学園 1年

家が全壊してしまいました。こんな私に見舞金をおくって下さってありがとうございました。

5月31日 家屋全壊 女 酪農学園 1年

この度はお見舞金を送ってくださり、誠にありがとうございました。みなさまのおかげでより一層、勉学に励むことができます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れずに、自分の夢に向かって努力していきたいです。

6月1日 家屋全壊 男 盛岡大学 1年

震災で家は全壊、生計者の母は失業仮設住まい、母の失業保険のなか奨学金を大きく借りて進学しました。このような支援は本当に嬉しく思います。ありがとうございました。

6月1日 家屋全壊 男

お見舞金本当にありがとうございました。みなさんの気持ちを無駄にしないようにこれからもがんばっていきます。

6月5日 父母死亡 女

ありがとうございます。

6月5日 家屋全壊 女

地震の傷は今もまだ残っています。しかし、このように沢山の方々が助けてくれる、と思うととても心強いです。実際に頂いたお金は、大事によく考えて使わせて頂きたいと思います。ありがとうございました。

6月5日 家屋全壊 女

ご支援ありがとうございます。